

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第53回
岐阜県代協

各支部に委員を任命し
情報発信やセミナーなど積極的に実施

◎岐阜県代協の取組み
 岐阜県代協は、現在219店の会員が加盟している。岐阜支部・西濃支部・中濃支部・東濃支部・飛騨支部の全県下5支部にて組織されている。委員会においても各支部に委員を任命、各活動においての情報発信や、セミナー参加などを積極的に行っている。

企画環境委員会では今年6月、「シギョケイワークショップセミナー」を開催。日本代協アドバイザーの粕谷智氏をお迎えし、中濃地区の可児市創造文化センター、岐阜地区の岐阜メデアイアコスモス、2会場で開催。「事業継続力強化計画」認定に向けてのワークショップを行った。ビジネスDの取得など、今までにやることがない会員も丁寧に指導を受けたことで、認定される代理店も増えてきている。すべての会員が「シギョケイ」を認定取得し、契約者の皆様に安心をお届けることができる。

よう、活動している。教育委員会では、あいおいニッセイ同和損保岐阜支店と協力し、セミナーを開催。保険会社から「情報提供の場を持ちたい」という提案をいただき、セミナーの共同開催を決定。参加者は会員・非会員合わせて毎回100名以上参加。セミナーは「昨年は新たなビジネススタイルの変革、昨年は業務の効率化、人材の確保・定着について」というテーマで、これからの代理店経営に必須の考えであり、今後を考えさせられるセミナーとして好評を得た。

広報機関連委員会では、認定保険代理士の時代から20年以上にわたって毎年企画し、会員・お客様だけでなく、様々な一般の方からも大きな反響を得ている。ターゲットプランナー広告を実施。今年度も中日新聞2月24日掲載で見聞きカラーの大きな紙面での広告展開を実施した。掲載希望者は191名で、保険会社にも協力をいただき掲載した。今年度も掲載した各会員から「思わぬところで声を掛けられる」などの声が届き、非常に高い広告効果が出ていると感じている。

また本年度より、「メスマニア」を使った広報活動だけでなく、もっと身近に感じられる広報活動を「この意見があり、路面バスに広告掲載する企画を実施。県内の4つのバス会社5路線をピックアップ。より多くの一般消費者の皆様が目にとまるよう、また、「保険を学ぶ前に代理店を選ぼう」という考え方を広げていく。身近なところから代協の名前があることで、何かの時にふと思いついていただけるような効果があればと期待している。

CSR委員会では、「長良川を美しくしよう運動」に毎回参加。岐阜県を代表する河川である長良川の清掃活動は、様々な団体が参加しているが、その中に岐阜県代協も参加。地域の皆様と共に活動することで、より大きな存在感を出せていると感じている。

組織委員会では、新規会員獲得のために、きめ細やかな活動を展開。各支部の委員からの情報をもとに、非会員の代理店さんに1件ずつ勧誘活動をしている。一部、代表的な活動を上げたが、当然これだけではない。各委員会は様々な活動を通じて各会員の大きな活力の源となっていけるよう、積極的な活動を行っている。



セミナーのよう

セミナーのよう
 セミナーのよう